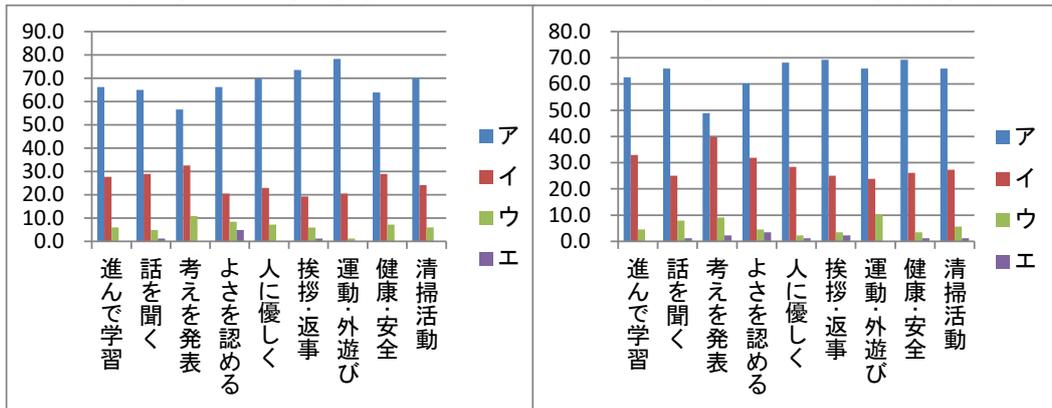
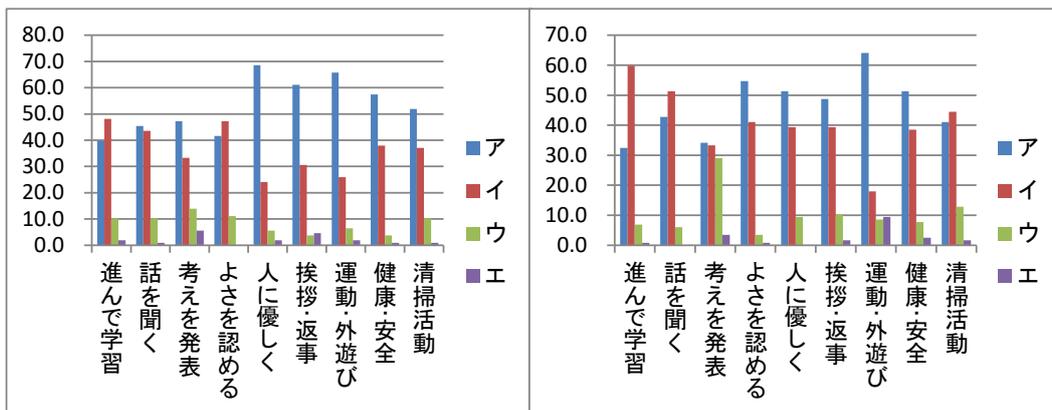


令和6年度 児童による学校生活評価



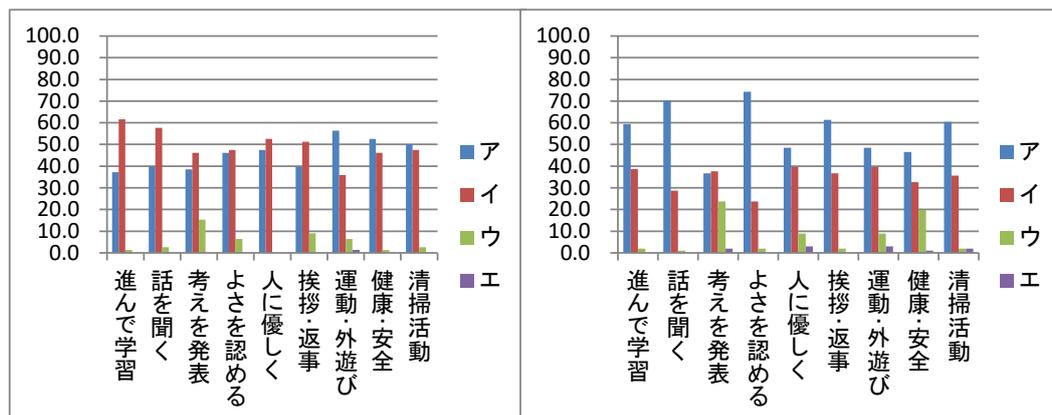
1年

2年



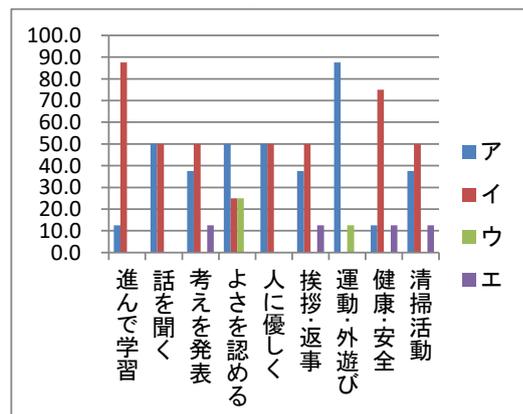
3年

4年



5年

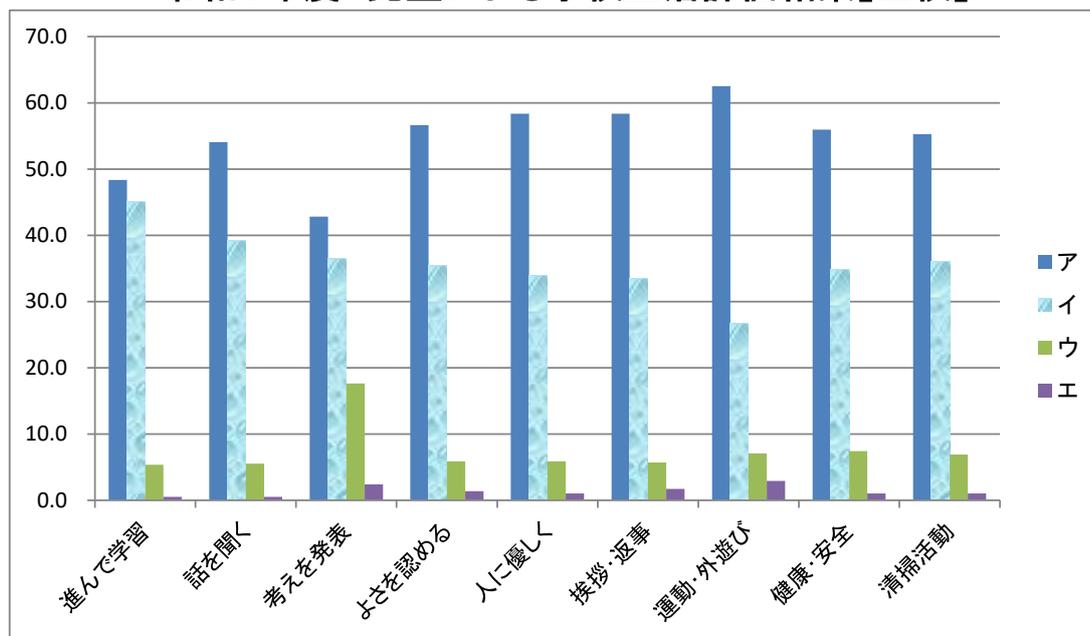
6年



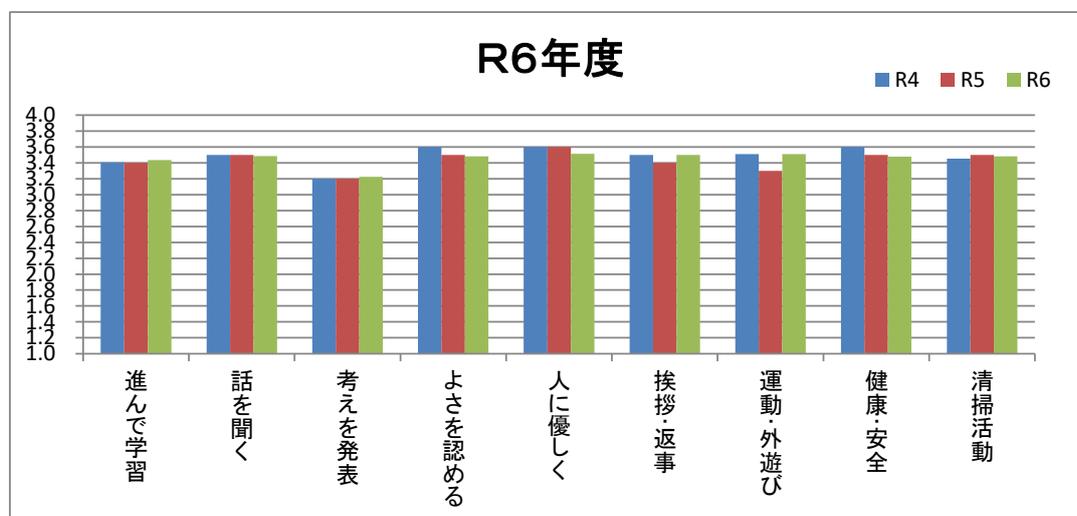
ひま・さく

ア:よくできた
 イ:できた
 ウ:あまりできなかった
 エ:できなかった

令和6年度 児童による学校生活評価結果【全校】



ア:よくできた イ:できた ウ:あまりできなかった エ:できなかった



【考察】

ほとんどの項目において、**全体の85%以上の児童が「できた・よくできた」と肯定的な回答**をしています。

・昨年度と比較し伸びた項目が、「1 進んで学習」「6 あいさつ・返事」「7 運動・外遊び」です。

・「1 進んで学習」の項目が高い数値であり、児童の学習に取り組む意欲が高いことがわかります。本校では、「聴くこと」の指導に力を入れていて、その成果が数値として表れています。進んで学習に取り組むことが、学力の向上につながります。今後も、継続して指導していきます。

・次いで「2 話を聞く」「4 よさを認める」「5 人に優しく」「6 あいさつ・返事」が続きました。2・4・5・6については、大原小の児童のよさです。友達のよさを認め、友達にに対して優しく接しようとする態度が育まれていることがわかります。

一方で、「3 考えを発表」に対する数値は74.5%という最も低い数値でした。その対策の一環として、国語科の授業を中心に、「学び合い」の学習を推進し、子ども同士が意見をつなげる授業形態を構築しています。今後も継続していくことで、子どもたちが自信をもって自分の意見を発表し、しっかり発表内容を聞くことで、「学び合い」の授業につなげていきます。

今後も、心優しい児童の育成を継続しつつ、学力向上に向け「学び合いの授業」が充実するよう、教職員一丸となって取り組んでいきます。